

学校だより



紫竹山

236号

新潟市立
紫竹山小学校
児童数383名

学力検査の結果と今後の取組

「全国学力・学習状況調査」「標準学力検査（CRT）」

清秋の候、保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃から当校の教育活動にご理解・ご協力を賜り、ありがとうございます。

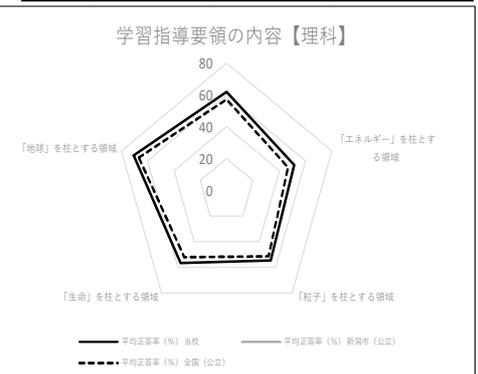
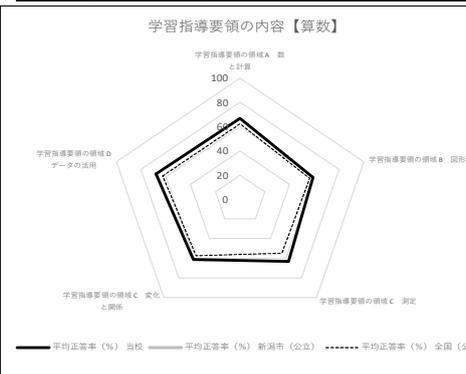
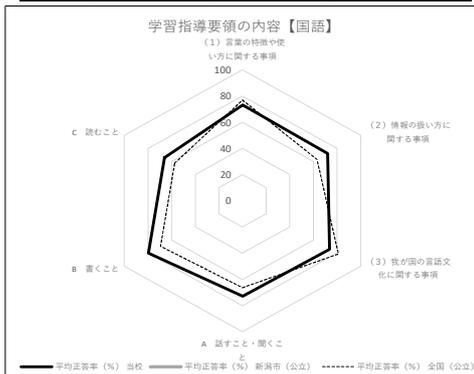
前期が終わり、後期の学習をさらに充実したものにしたいと考えているところです。今号では、6年生児童を対象に行われました「全国学力・学習状況調査」と、2年生以上を対象に実施した「標準学力検査（CRT）」の結果をお知らせします。

【全国学力・学習状況調査】

1 学力検査結果

今年度は理科も実施されました。正答に関わる平均は、下表の通りでした。いずれの教科も全国平均を上回る結果となりました。

| 国語 | 平均正答数 | 平均正答率 (%) | 全国比 (%) | 算数 | 平均正答数 | 平均正答率 (%) | 全国比 (%) | 理科 | 平均正答数 | 平均正答率 (%) | 全国比 (%) |
|----|-------|-----------|---------|----|-------|-----------|---------|----|-------|-----------|---------|
| 当校 | 10.1 | 72.0 | 107.8 | 当校 | 10.0 | 63.0 | 108.6 | 当校 | 10.5 | 62.0 | 108.6 |
| 県 | 9.2 | 66.0 | 98.8 | 県 | 9.0 | 56.0 | 96.6 | 県 | 9.4 | 55.0 | 96.3 |
| 全国 | 9.4 | 66.8 | | 全国 | 9.3 | 58.0 | | 全国 | 9.7 | 57.1 | |



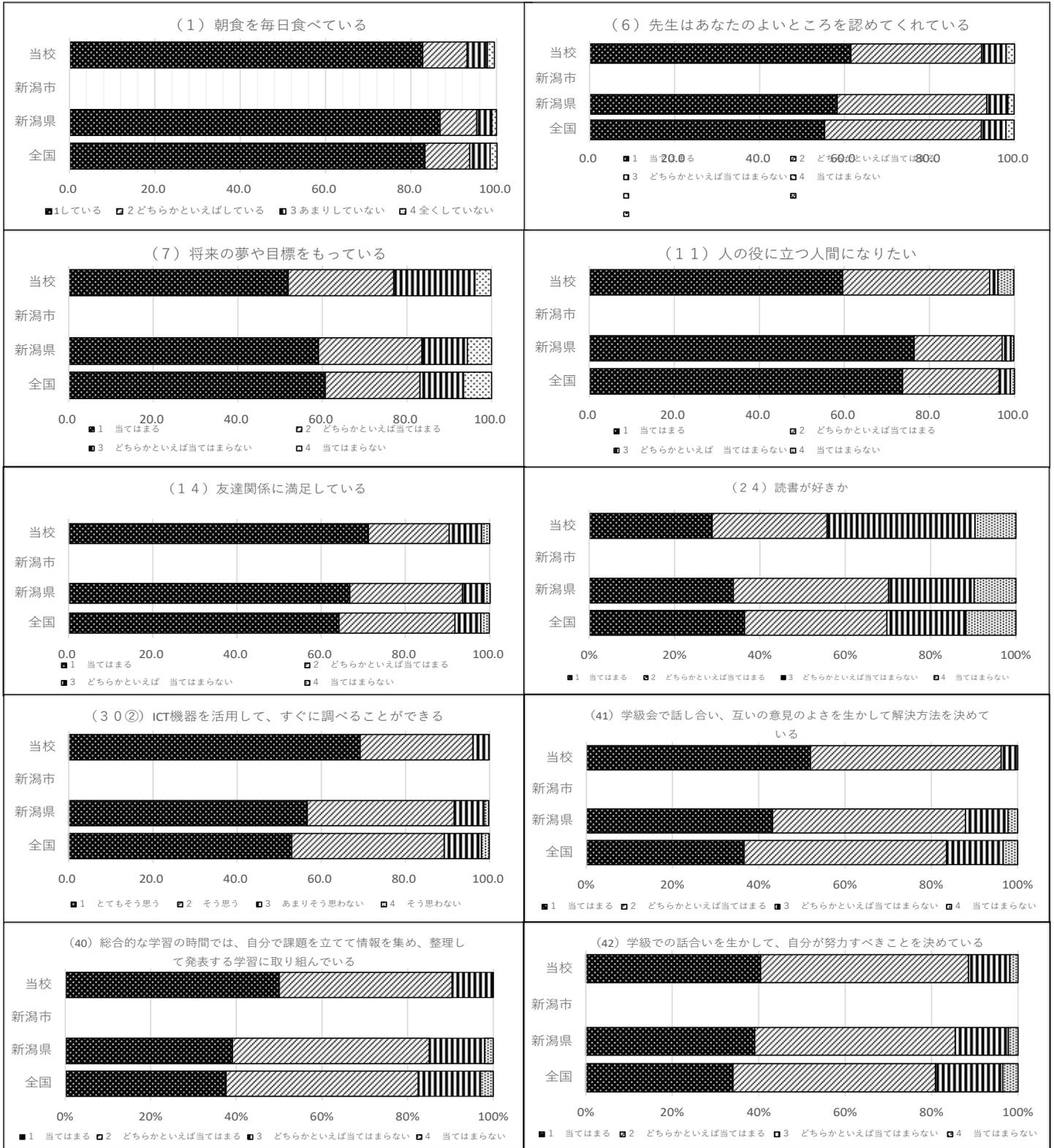
言語領域の一部を除いて、県や全国の達成状況を上回る成果が見られました。文章構成の工夫を読み取ることに特に強さが見られました。物語の人物像をとらえることがしっかり身に付いていることが分かりました。話合いの内容とつながる資料の選択が苦手な子が見られました。

県や全国の達成状況を上回る成果が見られました。伴って変わる2つの量の理解がしっかりできていることが分かりました。分母の異なる分数同士の計算でつまずきが見られました。また、五角形の面積を求めるために、三角形や四角形に分割して、公式を用いる問題につまずきがありました。

県や全国の達成状況を上回る成果が見られました。電磁石がどうすると強くなるのかがしっかり理解できていました。また、水の温度が上がると、水が膨張することもしっかり理解できていました。比較実験の条件制御について、つまずきが見られました。

2 学習状況調査

80程度の質問項目から、いくつかを下に示します。



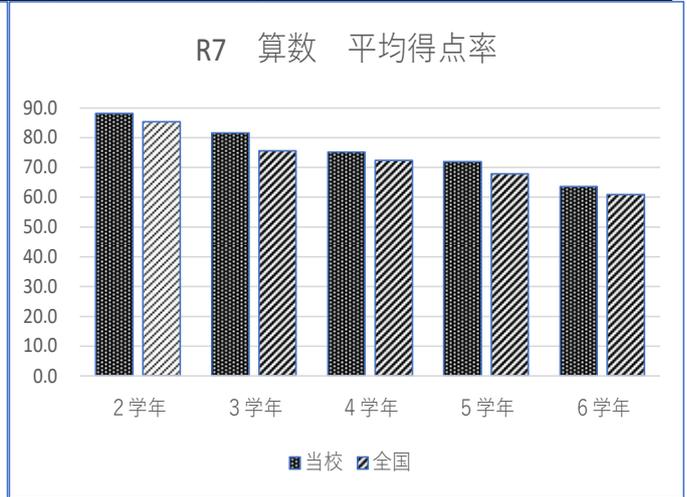
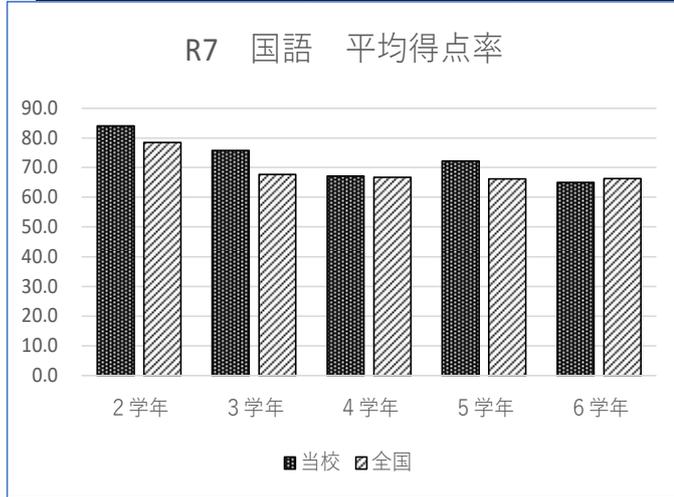
友達関係について満足している子どもが90%となりました。ICTを活用して、友達と協力しながら学び合える子どもが多いことが分かりました。将来への目標設定については、全国の割合を下回っている様子が見られました。6学年では、これから総合的な学習の時間で「キャリア教育」に取り組みます。大人との触れ合いや仕事にける思いなどをお聞きすることで、意識の高揚を目指します。

【標準学力検査（CRT）】

国語と算数の標準スコアは下表の通りでした。「標準スコア」とは、全国の正答率を50としたときの換算値です。50を超えていれば、相対的に良好であることを示しています。

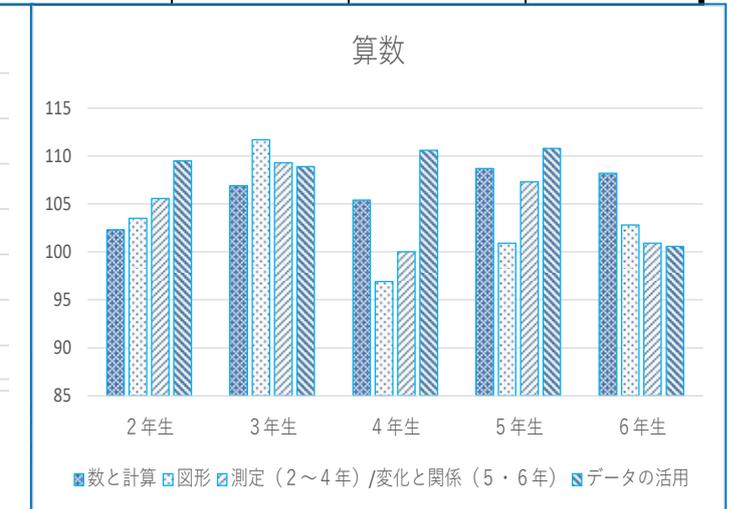
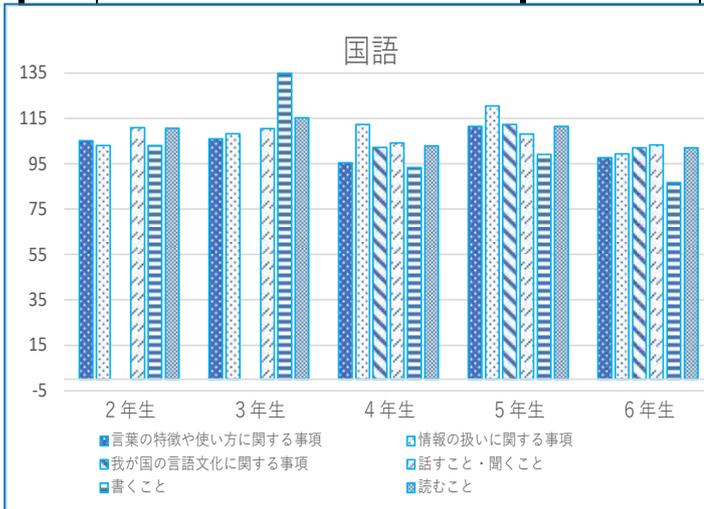
～標準スコア～

| | | | | | |
|---------|------|------|------|------|------|
| | 2学年 | 3学年 | 4学年 | 5学年 | 6学年 |
| 国語標準スコア | 53.5 | 53.8 | 50.1 | 53.0 | 49.3 |
| 算数標準スコア | 51.9 | 53.1 | 51.4 | 51.9 | 51.3 |



～各教科の領域別正答率の全国比～

| 教科 | 領域 | 2年生 | 3年生 | 4年生 | 5年生 | 6年生 |
|----|----------------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 国語 | 言葉の特徴や使い方に関する事項 | 105.1 | 105.9 | 95.4 | 111.4 | 97.7 |
| | 情報の扱いに関する事項 | 103.1 | 108.1 | 112.3 | 120.4 | 99.4 |
| | 我が国の言語文化に関する事項 | | | 102.2 | 112.3 | 102.0 |
| | 話すこと・聞くこと | 110.9 | 110.5 | 104.0 | 108.0 | 103.3 |
| | 書くこと | 102.9 | 134.8 | 93.2 | 99.1 | 86.7 |
| | 読むこと | 110.6 | 115.2 | 102.8 | 111.4 | 102.1 |
| 算数 | 数と計算 | 102.3 | 106.9 | 105.4 | 108.7 | 108.2 |
| | 図形 | 103.5 | 111.7 | 96.9 | 100.9 | 102.8 |
| | 測定(2～4年)/変化と関係(5・6年) | 105.6 | 109.3 | 100.0 | 107.3 | 100.9 |
| | データの活用 | 109.5 | 108.9 | 110.6 | 110.8 | 100.6 |



紫竹山だより

令和7年10月17日

| | | 国 語 | 算 数 |
|-------------|----|---|--|
| 2 年 生 | 傾向 | ○物語の登場人物の行動を具体的に想像することや、「は・へ・を」などの助詞がしっかり身に付いていることが分かりました。 ●内容のまとまりに気を付けて文章を書くことに弱さが見られました。 | ○文章問題を式に表すことがしっかりできていました。 ●繰り返り下がりのあるひき算の考え方を説明することや、立体で使われている面の形や枚数の理解に弱さが見られました。 |
| | 取組 | ・国語の授業だけにとどまらず、話題を選んで条件に合わせて書く活動に力を入れます。書くことに慣れ親しんでいけるようにします。 | ・式を立てたり答えを出したりする場面で、考え方を図で表したり、言語化したりすることに力を入れます。 |
| 3 年 生 | 傾向 | ○話し手が伝えたいことを、落とさずに聞き取る力が身に付いています。 ●共通していることや相違していることなど、情報と情報の関係についての設問に弱さが見られました。 | ○計算の基礎がしっかり身に付いていました。 ●直方体など立体を構成する要素の理解に弱さが見られました。 ●かけ算の式の意味を記述して説明する設問に弱さが見られました。 |
| | 取組 | ・国語の授業だけにとどまらず、社会科や総合的な学習で、情報のつながりに気を付けながら書く活動を位置付けていきます。 | ・学んだことを生活場面につないだり、量感を育てるために手に触れたり、操作したりする活動も取り入れます。 |
| 4 年 生 | 傾向 | ○説明文の段落の内容を読み取ることや、物語の人物の様子を捉えることがしっかり身に付いています。 ●話合いの司会の役割を問う設問に弱さが見られました。 | ○計算の基礎がしっかり身に付いていました。 ●筆算の中にある数値の意味理解に弱さが見られました。 ●棒グラフで、量の比較をする際、「何倍か」を問う設問に弱さが見られました。 |
| | 取組 | ・国語や他教科で、「伝えたいことの内容は何か」を意識して書く活動に取り組みます。 ・実際の話合い場面で、役割を果たしながら考えをまとめる活動に取り組みます。 | ・計算を正しく処理することだけでなく、筆算内の数の意味を確認するようにします。 ・分数・小数・整数を関連させて、大小判断ができるようにします。 |
| 5 年 生 | 傾向 | ○叙述の内容を正確に読み取れていました。 ●自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして文章を書く問題に弱さが見られました。 ●段落の役割や、連用修飾語の理解に弱さが見られました。 | ○グラフを正確に読み取る力が付いています。 ●計算の基礎は身に付いていますが、3けた÷2けたのわり算や四則が混ざった計算に弱さが見られました。 ●伴って変わる数量の関係を式に表すことや定規を組み合わせてできる角度を問う設問に弱さが見られました。 |
| | 取組 | ・国語の授業にとどまらず、書く活動を取り入れます。「段落を作って書く」「事実と事例」を区別して書くなど、条件を提示しながら書くことに慣れ親しめるようにします。 | ・計算、作図などの学びにおいて、大切なこと気付いたことを交流するなど、言葉で理解する場面を取り入れます。 |
| 6 年 生 | 傾向 | ○文章を要約する力が身に付いています。 ●文中にある誤った漢字を、正しく書き直す問題に弱さが見られました。 ●意見と理由を明確にして、指定された長さで記述する問題に弱さが見られました。 | ○面積の公式を用いて、基本図形の面積を正しく求めることができていました。 ●計算の基礎は身に付いていますが、分数の計算面に合った式を選択する問題に弱さが見られました。 ●「速さ」の理解を基に、「時速」を「分速」に変換したりする問題に弱さが見られました。 |
| | 取組 | ・事実や分かったことと自分の考えとをつないで文章に表していけるよう、他の教科と関連させて取り組みます。 ・漢字練習や語彙指導に継続して取り組みます。 | ・問題場面の解釈を言葉で交流したり、図や式の意味を説明し合ったりしていきます。 ・「速さ」や「割合」などの意味についても取り上げ、正しく理解できるようにします。 |

紫竹山小学校の傾向として、国語では「書くこと」、「感想などを共有すること」といった内容で、算数では「式の意味」「解法の説明」などの内容で、定着の低い問題がありました。これらの問題について、各学年の実態に応じて、今後の指導で重点的に取り組みます。各ご家庭におかれましても、お子さんの様子に合わせて、基礎基本の定着が図られるよう、称賛・ご指導をお願いします。